

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における訓練として避難、誘導、通報、初期消火、夜間の訓練が不十分である ・地域との協力体制がなされていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防計画に基づき年2回の訓練を行う ・地域の方にいざという時に協力が求められるよ運営推進会議を通じ体制作りに取り組む 	消防署と連絡をとり避難、誘導、通報、消火訓練を消防計画通り年2回実施する。夜間訓練については初めてなので消防署の方に来て頂いて指示を得る。消火訓練については水消火器での訓練を実施してもらう。 自治会に加入しご近所の方、自治会長等に運営推進会議に参加してもらえるよう要請する。	2 か月
2	11	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が個々に考えていること、意見や提案が表出されていない ・新入社員が4人入社し運営に関しての話がされていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士新たな気づきや提案が発生したときには個別でも話を聞くよう努力する ・新入社員とのコミュニケーションをはかる 	新たな気づきや提案、意見のある場合は設置してある情報共有活用としてある気づきノートに記入する。月1回のカンファレンス、朝の引継ぎ以外で時間不足の場合は個別でも取り組む。年1～2回程度は経営者、管理者、職員とが交流できる行事を設ける。	6 か月
3	33	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化、終末期のあり方について全員の利用者本人や家族との綿密な話し合いが出来ていない 	現在入所されている利用者本人及び家族と今後重度化した場合、終末期のあり方について綿密な話し合いをする	施設として現状報告、過去の事例等の説明をし利用者本人、家族の要望を聞く。医療の部分での連携医、かかりつけ医との協力体制について利用者本人、家族を含めて十分に確認を取る。平行して特別養護老人ホーム等に入所申し込みをされておられる場合も施設入所の順番が来た場合の確認が取れるようその時の状況に応じ話し合うこととする。話し合いで決められたことについては書面の記録として取り交わすこととする。	12 か月
4					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。